

経営比較分析表（平成28年度決算）

秋田県

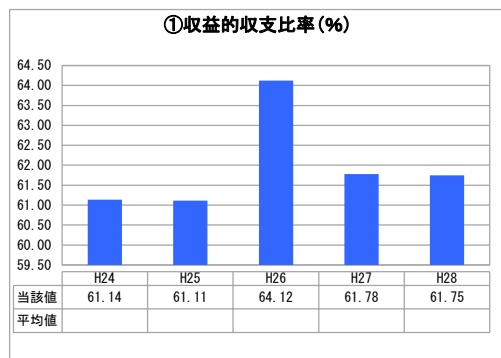
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	2.08	64.84	2,100

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
1,029,196	11,637.52	88.44
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
111	0.54	205.56

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



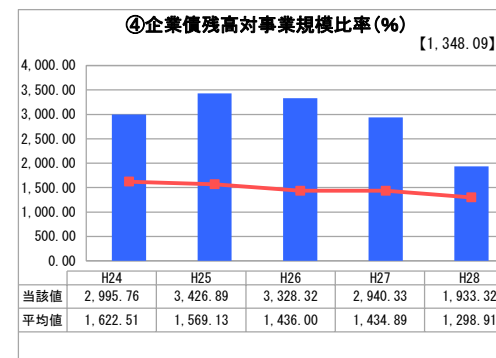
「単年度の収支」



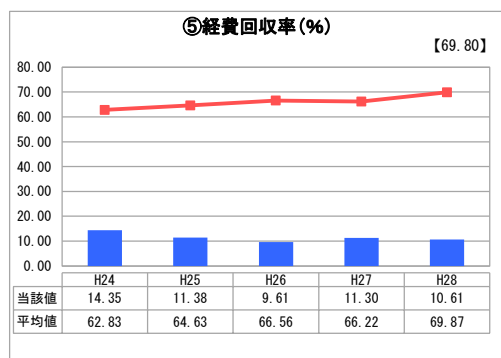
「累積欠損」



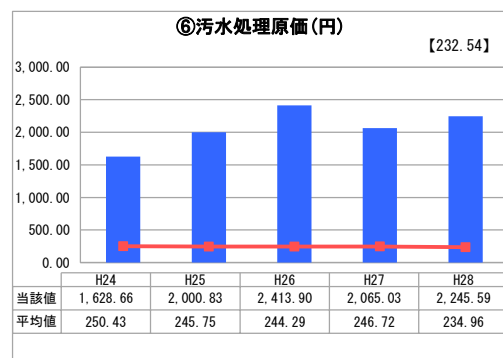
「支払能力」



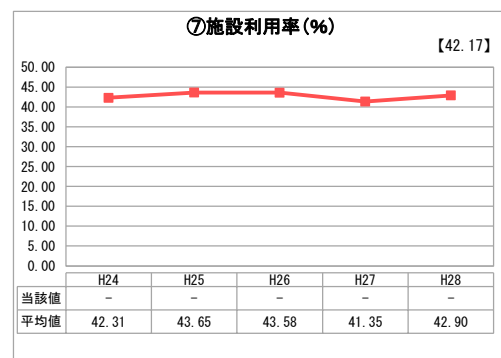
「債務残高」



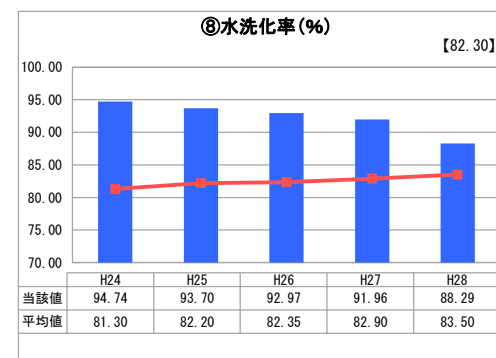
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

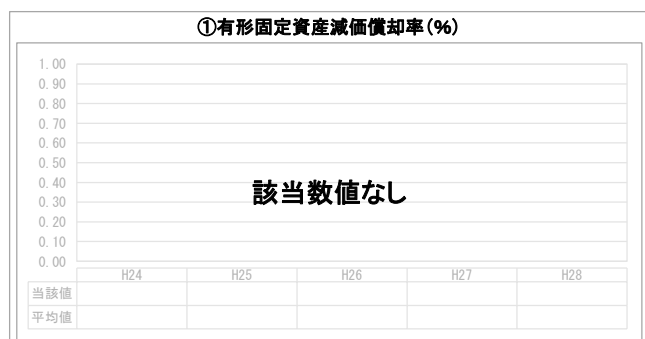


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

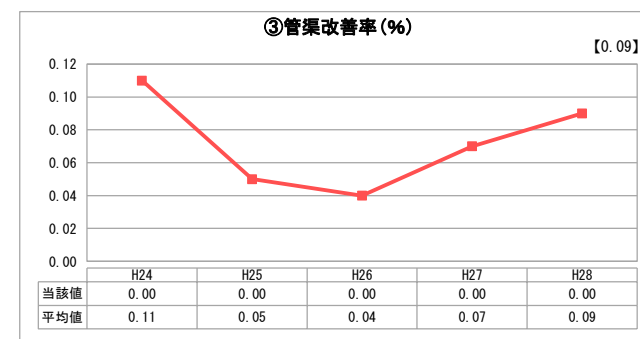
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

○本事業は、十和田湖の水質保全を目的として、青森県と共同で実施している。そのため、類似団体として挙げられている市町村事業との単純な比較はできないものと考えられる。

○収益的収支比率
・収益的収支比率は、60%台で推移している。
・使用料収入のうち約9割がホテル等の宿泊施設が占めており、これらの収入変動が指標の増減に影響を与えている。

○企業債残高対事業規模比率
・企業債の償還に伴い、減少してきている。

○経費回収率
・経費回収率の分母にあたる汚水処理費用は、青森県における汚水処理費用のうち秋田県分の負担費用であり、流入水量等により負担割合を決めることとしている。
・近年は、本県の流入水量の増減等により、経費回収率は微増減を繰り返している。

○汚水処理原価
・経費回収率と同様、増減を繰り返している。

○水洗化率
・水洗化率は、水洗化済み箇所の人口減少に伴い年々減少傾向となっている。

2. 老朽化の状況について

○当事業においては、管渠破損が増加する目安とされる整備から30年経過する管渠は現在のところ無いが、今後10年間で処理区全体の約7割が30年以上経過する管渠となることから、改築更新時期が集中する恐れがある。

全体総括

○県内有数の観光地である十和田湖の水質保全のため本事業を継続していくとともに、施設計画の見直しによる維持管理費用の最適化、ストックマネジメント計画の策定による投資の最適化等を青森県と共に図っていく。

○更に、平成32年度に公営企業会計へ移行するとともに、更なる経営改善にも取り組んでいく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。